

胃癌に対して胃切除を受けた患者さんへ
（ 生命科学・医学系研究に関する情報 ）

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に役立つ知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

胃切除術後の膵臓体積変化と手術様式の関連性に関する研究

【研究の目的】

胃癌は日本において依然として罹患率の高い悪性腫瘍であり、根治的治療としての胃切除術は広く施行されています。近年、術後の生活の質（QOL）や栄養状態に加え、長期的な臓器への影響を反映したコンピュータ断層撮影（CT）画像上の変化にも注目が集まっており、骨格筋量の減少率や骨 CT 値を用いた胃の術式別の比較が研究されています。また胃切除後に下痢や体重減少が起こることが知られており、これらの症状には膵外分泌機能不全が関わっているとされています。先行研究では、胃切除後に膵臓体積が経時的に減少することが報告されており、それに伴う膵外分泌機能や内分泌機能の低下との関連も示唆されています。しかし、膵臓体積の変化とその関連因子（手術様式、再建法、栄養状態など）に関する多施設にわたる網羅的検討は十分にされておられません。

本研究は、複数施設における CT 画像を用いた膵臓体積測定データを解析することにより、科学的合理性のあるエビデンスを構築することを目指すもので

す。

本研究では、胃癌に対する外科的切除後における膵臓体積の経時的変化を明らかにし、その変化に影響を及ぼす因子（手術様式、再建法、患者背景、栄養指標など）を解析いたします。特に胃全摘術後における膵萎縮の進行と術後長期経過との関連性を明らかにすることを目指します。

本研究により、膵体積の減少が予後や術後 QOL に及ぼす影響についての理解が深まり、今後の術式選択や再建法、栄養介入の最適化、さらには術後フォローアップ体制の構築に寄与することが期待されます。加えて術後に膵萎縮を呈しやすいリスク症例の早期同定や必要に応じた早期介入の指標確立につながる可能性があります。

【研究の方法】

① 臨床情報：解析のためにカルテより収集いたします。

●性別、年齢、診断時の全身状態（パフォーマンスステータス）、身長、体重

●血液検査所見：腫瘍マーカー（CEA、CA19-9）、アルブミン、総蛋白、総コレステロール値、LDL コレステロール値、HDL コレステロール値、トリグリセリド、CRP、白血球数、好中球数、リンパ球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、プロトロンビン時間、活性化部分トロンボプラスチン時間、フィブリノーゲン、D-ダイマー、FDP、AT-III、AST、ALT、 γ -GTP、ALP、LDH、総ビリルビン値、直接ビリルビン値、アミラーゼ、血糖、血中インスリン濃度

CT 情報：解析のために SYNAPS VINCENT を用いて計測いたします。

●膵臓体積、膵管直径、膵臓断面長、L3 骨格筋量、Th12CT 値、

病理結果：解析のためにカルテより収集いたします。

●胃癌に関する腫瘍情報：肉眼形態、腫瘍部位、サイズ、深達度、リンパ節転移の有無、遠隔転移や再発の部位、進行度（ステージ）、リンパ管侵襲、静脈侵襲、組織型、HER2 スコア、MSI/MMR、CPS、CLDN18.2、組織学的治療効果判定

治療法：解析のためにカルテより収集いたします。

- 手術：施行日、術式、リンパ節郭清度、合併症
 - 化学療法：施行日、化学療法内容、治療効果（RECIST）、副作用
- 生命予後：
- 再発の有無、手術あるいは治療開始後からの生存期間

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2035年3月31日

【対象となる患者さん】

2000年4月1日から2025年3月31日までに、鹿児島大学病院消化器外科および5つの研究機関で胃癌と診断され、胃切除術の治療を受けた患者さんを対象にしています。

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学病院 消化器外科 大塚隆生

今村総合病院 外科・消化器外科 上之園芳一

鹿児島市立病院 消化器外科 前村公成

済生会川内病院 外科・消化器外科 柳田茂寛

鹿児島厚生連病院 外科・消化器外科 迫田雅彦

霧島市立医師会医療センター 外科 新地洋之

【本研究全体の研究代表者】

鹿児島大学病院 消化器外科 大塚隆生

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 田川 義晃

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

当院の研究責任者：前村 公成

連絡先：鹿児島市立病院 消化器外科

〒890-8760 鹿児島市上荒田町 37 番 1 号

TEL099-230-7000（代表） 平日 9 時～17 時

FAX：099-230-7111